

⑤ITなどの新技術を活用した生産や販売の実現

じゃがいも生産現場の省力化に対応した「石対策培土取付ブラケット」の開発、製造及び販売事業

じゃがいもの栽培工程の省力化、緑化低減を目的とした「石対策培土取付ブラケット」を開発、製造及び販売を目指す。

➤ 連携体

農林漁業者

(株)希来里ファーム(法人番号 6460301004061)(農業)

じゃがいも生産技術、農機運用ノウハウを活かし、試験圃場を提供する。

中小企業者

(有)サンヨー工業(法人番号 1460302000741)(生産用機械器具製造業)

新構造で耐久性の向上を図った「石対策培土取付ブラケット」を開発し、じゃがいも生産者への新規販路を開拓する。

連携参加者

(一社)北見工業技術センター運営協会(法人番号 2460305001769)

士幌町農業協同組合(法人番号 8460105001245)(農業)

本連携事業において、設計協力、人材育成の支援、生産者ニーズの収集を行う。

サポート機関等

(独)中小企業基盤整備機構北海道本部(法人番号 2010405004147)

➤ 連携の経緯

平成29年1月に北海道経済産業局と北海道農政事務所の共催で開催した「6次産業化・農商工連携フォーラム」に(株)希来里ファームが参加した際、農商工連携制度を活用した農業機械の開発事例を知ったことが契機。その後、取引関係にある(株)希来里ファームと(有)サンヨー工業が相互の課題を共有し、課題解決を目指した新製品を開発するに至った。

培土機による土寄せ状況

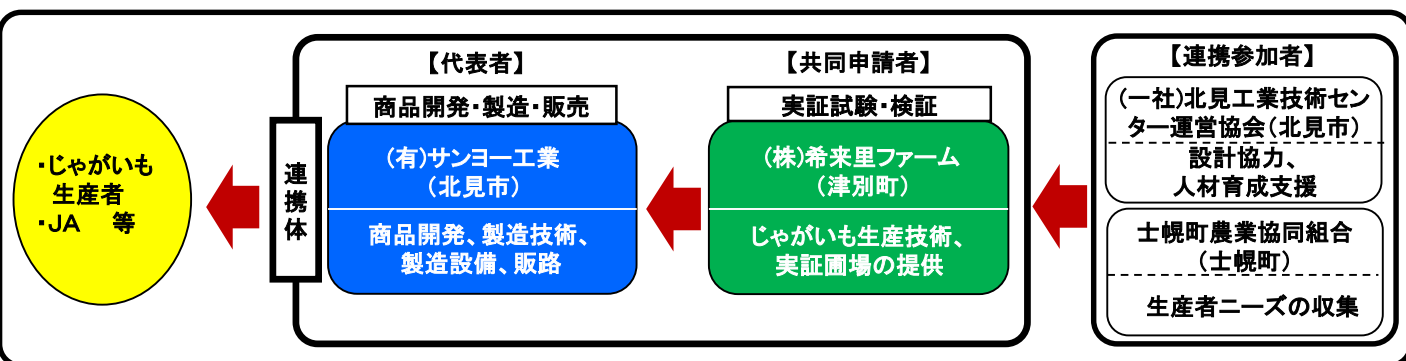


培土ブラケット(現製品)



➤ 連携に当たっての課題や工夫等

(有)サンヨー工業は、平成23年頃から地元じゃがいも生産者のニーズに応えるため、じゃがいもの播種と同時に、培土を行う作業機のアタッチメントの開発に取り組み、「培土ブラケット」を開発した。当該製品を使用した生産現場では、省力化につながったなどの好評価を得ている一方で、「石や土塊が含まれている土地」、「傾斜地」における使用環境では、播種と培土の位置関係に誤差が生じる等の新たな課題が浮き彫りになった。本事業では、多様な土壌に対応できる新構造で耐久性の向上を図った新型「石対策培土取付ブラケット」を開発し、規模拡大や労働力確保などの課題を抱える生産現場の省力化を目指す。



➤ 連携による効果

農林漁業者

5年で約1,400万円の売上高増加。

省力化による労働力の適正化、農業経営の安定化。

中小企業者

5年で約2,000万円の売上高増加。

新型農業機械の開発による販路拡大、経営の向上。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：有限会社サンヨー工業

T E L : 0157-56-3211

E - m a i l : sanyo@cameo.plala.or.jp

所在地：北海道北見市端野町三区438番地

F A X : 0157-56-3212

ホームページ：http://sanyo-kougyou.com/